

ファーム・インさぎ山

江戸時代より250年以上、見沼の地で暮らしている農家です。ここファーム・インさぎ山の農園は、昔は「野田のさぎ山」と呼ばれ何万羽ものサギが営巣する自然豊かな場所でした。しかし都市化や環境汚染のため、昭和47年にサギは姿を現さなくなりました。その様子を目の当たりにしてきた私たちは、除草剤を使わず化学肥料を使わず、木々の恵みである落ち葉を集めて堆肥を使った有機栽培にこだわり、自然と共生しながら農家の暮らしを営み続けています。かまどで炊いたご飯を食べたり、藁でしめ縄を作ったり、無農薬無化学肥料の野菜を育てたり、見沼の豊かな自然からのお裾分けに感謝をしながら、のんびりと生活しています。そんな「農のある暮らし」をぜひ多くの方に体験していただきたく、1991年に「ファーム・インさぎ山」を立ち上げました。以来、親子体験農園である「かあちゃん塾」、農業体験、農のある暮らし体験などの体験活動、食育に関する活動、野菜や米の生産活動、生産指導など、多くの活動を行なっています。

メインスタッフ



萩原さとみ



萩原哲哉



吉武裕美子

百姓

結婚と同時に就農し50年。グリーンツーリズムという言葉に出会い、ヨーロッパを視察し「ファーム・インさぎ山」を平成9年に立ち上げ、都市と農村を繋いできた。
平成14年「子供農業体験活動コンクール」農林水産大臣賞、平成27年「食アメニティコンテスト」農林水産大臣賞、第3回「食と農林漁業の食育優良活動表彰」消費・安全局長賞などを受賞。埼玉県認定ふるさと味の伝承士。

250年以上続く農家の次男として生まれ、2歳より農作業を手伝い、3歳でユンボを操縦する。現在は年間100種類以上の野菜を無農薬・無化学肥料で育てている。ホテルやレストランなどに野菜を納めている他、学校給食にも納品している。
東京農業大学卒業、独立行政法人農研機構 農業者大学校卒業。
新宿調理師専門学校農業講師、NPO 法人食育研究会MoguMogu理事、野田小学校学校運営評議会評議委員

東京大学にて博士（工学）取得。大学助教を経て、現在は芝浦工業大学及びお茶の水女子大学非常勤講師。
平成28年度文部科学大臣表彰科学技術賞理解増進部、第19回日本工学教育協会賞、第4回関東工学教育協会賞、第54回応用物理学関係連合講演会講演奨励賞などを受賞。青空実験教室「農かがく」発起人元代表、長岡技術科学大学Kawaii理科プロジェクト元代表、北海道大学科学技術コミュニケーション養成プログラムCoSTEP第11期卒業生